



平成28年5月24日

**広島大学病院に「福島医療支援センター」を設置しました
越智学長らが5月26日に福島県庁を訪問**

広島大学は平成28年3月、広島大学病院に福島医療支援センターを設置しました。福島県立医科大学からの要請による診療支援に対応するものです。広島大学病院の内科医師が福島県立医科大学に出向し、「ふたば救急総合医療支援センター」を活動拠点に、住民の帰還が始まる福島県双葉地域の診療体制構築に協力します。

福島県立医科大学が4月、同大学病院内に設置した「ふたば救急総合医療支援センター」は、来年3月に予定されている双葉地域の避難指示解除を見据え、帰還住民が安心して住み、働ける環境を整備するための医療体制構築を目的としています。広島大学病院の福島医療支援センターから内科医師が福島県立医科大学に出向。「ふたば救急総合医療支援センター」を拠点に、住民の在宅診療などに対応する予定です。

これに合わせて5月26日、広島大学の越智光夫学長と神谷研二副学長（平成23年4月より福島県立医科大学副学長を兼任）が福島県庁を訪問し、内堀雅雄知事、福島県立医科大学の菊地臣一理事長、谷川攻一副理事長（前・広島大学病院高度救命救急センター長）らと懇談します。

広島大学は国の緊急被ばく医療の拠点である三次被ばく医療機関として平成23年3月に東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故が発生した直後から、継続して緊急被ばく医療チームや放射線の専門家ら延べ1300人余りを派遣するなど、医療支援を中心とした被災地の復興支援活動に取り組んでまいりました。同年4月には福島県立医科大学と教育・研究・診療分野における一層の緊密な連携・協力関係の構築を目的とする連携協定を締結しました。

また本年4月には長崎大学を加えた3者でネットワーク型の「放射線災害・医科学研究拠点」を設置し、福島復興の学術基盤を長期的に確立するとともに、放射線に関連する社会的貢献をさらに進展させることを目指しています。

被爆地の大学として広島大学は、今後も引き続き、福島県立医科大学と連携して福島復興支援と住民の皆さんの命と健康を守る取り組みに協力してまいります。

5月26日の福島県庁での主なスケジュールは以下の通りです。

11：00 内堀知事と懇談（知事室）

11：20 懇談終了後、ぶら下がり会見（本庁舎2階）

【お問い合わせ先】

副学長（復興支援・被ばく医療担当） 神谷 研二（かみや・けんじ）

Tel : 082-257-5842 FAX : 082-257-5844

E-mail : kkamiya@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

広島大学の福島復興支援への取り組みについて

平成28年5月 広島大学

1. これまでの取り組み

広島大学では、主として原発事故の発生した福島県を中心に、震災直後から継続して緊急被ばく医療チームを派遣し、医療支援などの被災地の復興支援活動に取り組んできました。

当時、本学は西日本ブロックの三次被ばく医療機関、緊急被ばく医療の拠点として位置付けられていたこと（現在は高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターに指定）、本学が世界で最初の被爆地広島市に開学したこと、などから被災地の支援は本学に課せられた重要な使命として受け止め、活動してきました。

具体的な支援活動としては、平成23年3月以降、緊急被ばく医療に関する医療支援チームや専門家の派遣、住民の一時立ち入りの支援、住民のスクリーニング検査と資料管理、住民や学校・行政等に対する放射線影響に関する情報の提供やリスクコミュニケーションなどであり、これらを原爆放射線医科学研究所長の神谷研二教授（現広島大学副学長（復興支援・被ばく医療担当）、福島県立医科大学副学長、福島県放射線健康リスク管理アドバイザー）、高度救命救急センター長の谷川攻一教授（現福島県立医科大学副理事長）を中心に本学教職員が一体となって積極的に行ってきました。

一方、福島県が実施しています県民健康調査に於きましても、福島県立医科大学に当初より専門家を派遣すると共に県の検討委員会に委員を派遣するなど、同調査を専門的観点から支援しています。

また、平成23年4月、広島大学及び福島県立医科大学は、教育・研究・診療分野における一層の緊密な連携・協力関係の構築を目的として連携協定を締結。平成28年4月には、広島大学、長崎大学及び福島県立医科大学は、放射線災害・医科学研究拠点を設置し、福島復興の学術基盤を長期的に確立するとともに、放射線に関連する社会的貢献をさらに進展させることを目指しています。

2. 今回の取り組み

- ・広島大学病院に福島医療支援センターを設置し、福島県双葉地域の医療を支援

福島県の医療体制の整備にあたり、福島県立医科大学から依頼のありました内科医師による診療支援に対応するため、平成28年3月に広島大学病院に福島医療支援センターを設置しました。

広島大学病院福島医療支援センターでは、福島県立医科大学への医師の出自について調整を行っており、今後、福島県立医科大学から依頼のある診療支援業務内容を踏まえ、福島県の医療体制の充実に貢献し、引き続き福島復興支援に協力していく所存です。



平成28年5月25日

【訂正】

広島大学病院に「福島医療支援センター」を設置しました
越智学長らが5月26日に福島県庁を訪問

昨日送付した「広島大学病院に「福島医療支援センター」を設置しました越智学長らが5月26日に福島県庁を訪問」について、本学越智学長が都合により訪問を見送ることになりましたので、お知らせします。

なお、越智学長の代理として、神谷研二副学長が福島県庁を訪問し、知事との懇談等を行います。

【お問い合わせ先】

副学長（復興支援・被災者医療担当） 神谷 研二（かみや・けんじ）

Tel : 082-257-5842 FAX : 082-257-5844

E-mail : kkamiya@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）